

第 14 回 八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時	平成 23 年 12 月 21 日（水） 10：00～12：00
場 所	労政会館 第 1 会議室
議 題	議事 (1) 八王子市地域公共交通総合連携計画の一部変更について (2) 八王子市地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価について (3) 八王子市の公共交通のあり方について 報告事項 (1) 小津町地域バス及び醍醐・降宿地区乗合タクシーの乗車状況について (2) 交通事業者からの報告
●議事(1) 八王子市地域公共交通総合連携計画の一部変更について 平成 24 年度事業として、キャピタル交通株式会社で福祉タクシーの導入を計画することから、事業の実施にあたり、八王子市地域公共交通総合連携計画で位置づけられている内容の変更箇所と、八王子市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書の変更箇所を事務局より説明した。 また、導入の経緯や事業の効果、導入概要についてキャピタル交通株式会社より説明した。 【主な意見、質疑】 ・ 国に補助金の申請を行う際、車両の用意をどうしようと考えているのか。 ⇒（キャピタル交通株式会社） 関東運輸局へ福祉限定車両の申請をし、実費で車両の購入予約をしているため、認可が下り次第、運行を開始したい。平成 24 年度の国の補助金申請は締め切られているが、追加募集があれば、もう 1 台追加することを検討している。 ・ 導入する福祉タクシーは、利用者にとって利用しやすいという説明だが、具体例を知りたい。 ⇒（キャピタル交通株式会社） 車いすが簡単に乗せられるタクシーを導入するため、一般のタクシーに比べて、安心して利用していただくことが出来る。 ・ 障害者はどのような手順で利用すればよいのか。また料金はどうなるのか。 ⇒（キャピタル交通株式会社） 利用するには電話で予約する。料金は、既存のタクシーと同様である。 ・ 利用者にはどのように周知していくのか。 ⇒（キャピタル交通株式会社） 会社のホームページへの掲載や、可能であれば広告等様々な方法で宣伝していきたいと考えている。 ・ 福祉タクシーは、対象となる利用者が限定されているので、障害者団体等に直接 PR すると良いのではないかと。 ⇒（キャピタル交通株式会社） 障害者団体や、障害者施設への営業も行っていきたいと考えている。 ・ 予約の方法には、電話だけではなく、FAX も使えると良いのではないかと。 ⇒（キャピタル交通株式会社） FAX でも予約できるように対応したいと考えている。 ・ 福祉タクシーを利用する際に、どのように予約するか、マニュアルを作ると利用しやすい。 【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】 ●議事(2) 八王子市地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価について 八王子市地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価と、関連する内容として、はちバス乗客数、サイクルアンドバスライドに関するアンケート調査結果、小津町地域バス及び醍醐・降宿地区乗合タクシーに関するアンケート調査結果について、事務局より説明した。 【主な意見、質疑】 ・ 山間地域交通改善モデル事業で運行しているバスやタクシーの乗車人数は、地元でどのように伝えられているのか。 ⇒（事務局） 地元へは、バスやタクシーの乗車人数を客観的に判断できる目安として、提示している。 ・ 小津町地域と醍醐・降宿地区の乗車状況で、平成 23 年 4 月～11 月末までの数字だけで目標値に達し	

ているか否かを判断するのは適切ではないのではないか。

⇒（事務局）1月には国に評価の結果を報告する関係で、現時点での数字を記載している。

- ・小津町地域と醍醐・降宿地区の住民は、国に補助金を強く求めているということだが、地元の声をそのまま説明として挙げるのではなく、市として今後、小津町地域と醍醐・降宿地区をどのように支えていくのか、という説明をする必要がある。

⇒（事務局）国に対しても、醍醐・降宿・小津地域の交通に補助が出るような制度設計をお願いしたいということを書面でアピールしていきたい。

- ・はちバスの運賃を改定したことが、利用者数に影響したという説明だったが、必ずしも運賃改定だけが原因とは言い切れないので、2箇所の記載は1箇所にすべきではないか。

⇒（事務局）内容を検討し、訂正する。

- ・サイクルアンドバスライドのアンケートに答えている人数が、16人というのは少ないのではないか。
- ⇒（事務局）人口密度が小さく利用者数が少ないため、16人からしか回答が得られなかった。

- ・本来サイクルアンドバスライドを利用すると思われる距離帯に住んでいる人達に、サイクルアンドバスライドの存在を知っているか、利用する意思はあるか、利用していない場合何が不便か等を聞くと良いのではないか。

⇒（事務局）アンケートについて町会長と相談し、効果的に実施できるよう検討する。

【事後評価については、修正を行い最終確定したものを提出するということで合意が得られた。】

●議事(3) 八王子市の公共交通のあり方について

前回の活性化協議会において、八王子市における公共交通の現状、公共交通と福祉交通の棲み分け、あり方基本方針について議論した。今回、前回議論した内容について、訂正が必要な個別の確認と議論を深めたい内容について、事務局より説明した。

また、八王子市の公共交通の利用促進について検討していくため、他市の事例として、八戸市や山口市の事例を事務局より紹介した。

【主な意見、質疑】

- ・なぜ八戸市や山口市を紹介したのか。
⇒（事務局）第14回の協議会で、特に八戸市と山口市について話題にあがったため、今回の協議会でその事例を紹介した。
- ・八王子市として、今後どのようなことをやっていきたいのか。
⇒（事務局）バスマップの作成と、公共交通の利用促進について検討していきたいと考えている。
- ・他市の事例は、近隣の市を紹介してほしい。
- ・八王子駅北口バスターミナルの使いにくさは今後の公共交通の課題である。
⇒（事務局）利用状況については、多くの方から意見をいただいているので、利用者の安全を確保し、今後改修を含めて検討いく。
- ・今後はバス事業者と行政と地域住民の3者が協力し、生活交通を維持していく必要があるのではないか。
⇒（事務局）ご指摘のとおり、住民も加わって生活交通を維持する必要があると考えているため、表現については検討したいと思う。

【本件については、引き続き検討していくということで了解が得られた。】

●報告事項(1) 小津町地域バス及び醍醐・降宿地区乗合タクシーの乗車状況について

小津町地域バス、醍醐・降宿地区乗合タクシーの乗車状況について、事務局より説明した。

●報告事項(2) 交通事業者からの報告

バスロケーションシステム導入事業スケジュールの進捗状況の報告について、西東京バスより説明し、バス路線の変更内容について、神奈川中央交通より説明した。

●閉会

以上